北海道旭川聾学校（令和８年１１月２０日作成）

富沢小学校との交流





19 日、本校児童が富沢小学校を訪問して交流を行いました。この交流は 31 年目になります。これだけ続けてこられたのは無理せずにお互いの関係性を深めてこられたからなのでしょう。私が 10 年前に２年間本校で教頭をしていたときも交流をしておりました。今年出向いたら、来年は来てくれるという関係です。同じようにやっている交流ですが、以前とは決定的に違うと思わされることがありました。富沢小学校では、この交流を行う前に、きこえない方から事前に手話を学ぶ時間を作ってくれていることです。当然、子どもたちからは知っている手話が自然に表現され、手話を使って話し掛けてくれることが多くなりました。すばらしいです。

当日は、体育館で対面式を行った後、低学年と高学年に分かれて富沢小学校の児童が考えてくれたゲームをして楽しみました。高学年は、しっぽ取りをした後、教室でパソコンのルーレットを使用したフルーツバスケットなどをしました。低学年は、椅子取りゲームをしたり、絵を描いてつなげるしりとりなどをしました。色々考えてくれていたので、聾学校のみんなは楽しかったようです。ありがとうございます。

低学年の椅子取りゲームを見ていて、面白かったのは、聾学校の子どもたちがわかりやすいように音楽は無しで、教室の電気が付いているときは歩いて、電気が消えたら座るというルールを考えてくれたことです。音楽がないと寂しいということで、自然に「となりのトトロ」の歌を「あるこ～、あるこ～、わたしはげんき～」と歌いながらみんなで楽しみました。また、言葉でするしりとりではなく、黒板に絵を描いて言葉をつなげるしりとりが面白かったですね。みんなそれぞれの発想で、「いぬ」や「ねこ」「まちこせんせい」・・・などと絵を描いていました。

高学年は、ルーレットフルーツバスケットが面白かったかな。「勉強が嫌いな人。」というカテゴリーに立たない人がいて、好きな人もいるんだなと感心しました。両校にいましたよ。また、「震源地」というゲームでは、本校児童が震源地になりましたが、自分が指示している動作をみんながまねしているということがわからないようにうまくでき、楽しめたようです。

お互いの代表が挨拶して、また、来年も会いましょうとお別れしました。今度は、一緒に勉強してみるのも面白いかもしれません。来年も楽しみです！！これからもよろしくお願いします！！！



